

3次元の回転行列・対角行列・上/下三角行列 | 第1章 行列の概念

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L14(2024-05-29 Fri)

最終更新: Time-stamp: "2024-05-31 Fri 11:46 JST hig"

今日の目標

- 和差積逆転置スカラー倍の混ざった正方行列の計算ができる
- 空間の1次変換の行列を書ける
- 上下三角, 対角, 対称行列の定義を使った証明ができる



L13-Q1

Quiz 解答: パラメタ表示された直線の 1 次変換による像

- ① 略
- ② 例えば $t = 0, 1$ に対して, $\boldsymbol{x}_1 = \begin{bmatrix} 0 \\ 3 \end{bmatrix}$, $\boldsymbol{x}_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}$.
- ③ $\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 \\ 3 \end{bmatrix}$ すなわち $\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} -5 \\ -3 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 9 \\ 3 \end{bmatrix}$, $t \in \mathbb{R}$.
- ④ $f(\boldsymbol{x}_1) = A\boldsymbol{x}_1 = \begin{bmatrix} 9 \\ 3 \end{bmatrix}$, $f(\boldsymbol{x}_2) = A\boldsymbol{x}_2 = \begin{bmatrix} 4 \\ 0 \end{bmatrix}$. これらは, f による l の像の上にある ($t = 0, 1$).

L13-Q2

Quiz 解答: 方程式で定まる直線の 1 次変換による像

- ① 略
- ② $\boldsymbol{x}_1 = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}$ はもちろん l 上にある. $\boldsymbol{x}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 3 \end{bmatrix}$ も方程式を満たし l 上にある.

$$\textcircled{3} \quad A \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 4 \\ 0 \end{bmatrix}.$$

$$\uparrow (A^{-1}) \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ -3 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} = \frac{1}{2} \begin{bmatrix} 3 \\ -5 \end{bmatrix}.$$

よって,

$$\frac{1}{2} \begin{bmatrix} 3 \\ -5 \end{bmatrix} \cdot (\mathbf{x} - \begin{bmatrix} 4 \\ 0 \end{bmatrix}) = 0.$$

$$\textcircled{4} \quad f(\mathbf{x}_1) = AV\mathbf{x}_1 = \begin{bmatrix} 4 \\ 0 \end{bmatrix}, f(\mathbf{x}_2) = A\mathbf{x}_2 = \begin{bmatrix} 9 \\ 3 \end{bmatrix} \text{ は } f \text{ の像の方程式を満たすことがわかる.}$$

ここまで来たよ

13 1次元変換による直線の像 | 第1章 行列の概念

14 3次元の回転行列・対角行列・上/下三角行列 | 第1章 行列の概念

- 行列の和差積逆スカラー倍
- 3次元空間の1次元変換
- 対角行列

行列の計算のルール

次のルールだけを使ってよい．ここにはないルールは使ってはいけない．

- 積（零行列，単位行列の乗算） 加藤 線形代数 定理 2-2(p.26)
- 逆行列のルール 加藤 線形代数 定理 3-2(p.36)
- 零行列の加算のルール 加藤 線形代数 定理 2-1(p.24)
- 巾の略記 $A^n = \underbrace{AA \dots A}_n$, $A^0 = E$, $A^{-n} = (A^n)^{-1} = (A^{-1})^n$.
- 定数（専用変数） E 単位行列， O 零行列．

L14-Q1

Quiz(行列の積和逆スカラー倍)

次の行列の積を展開して、括弧がない簡単な形にしよう.

- ① $(AB + (2BA)^{-1})(3A + BA)$
- ② $B(A + B^2 + B^{-1} + (4AB)^{-1})B^{-1}$

前回のチーム課題から

- ① $((2AB)^{-1} + 6B)^2$
- ② $(AB + 2A)((2BA)^{-1} + A)$
- ③ $(A + (BA)^{-1})(B + (10A)^{-1})$
- ④ $(2A - (2B)^{-1})(B + (AB)^{-1})$
- ⑤ $(4A + (2BA)^{-1})^2$

ここまで来たよ

13 1次変換による直線の像 | 第1章 行列の概念

14 3次元の回転行列・対角行列・上/下三角行列 | 第1章 行列の概念

- 行列の和差積逆スカラー倍
- 3次元空間の1次変換
- 対角行列

3 次元空間の 1 次変換

$x \in \mathbb{R}^3$ を 3 次の正方行列 A で移動させることができる。

z 軸を回転軸とする xy 平面内の回転 ブロック分け, **ブロック対角行列**

$$\begin{bmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \quad \text{逆変換は?}$$

x 軸を回転軸とする yz 平面内の回転 ブロック分け, **ブロック対角行列**

$$\begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & \cos \theta & -\sin \theta \\ 0 & \sin \theta & \cos \theta \end{bmatrix} \quad \text{逆変換は?}$$

xz 平面 (平面 $y = 0$) に関する対称変換 (**鏡映**) 対角行列

$$\begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \quad \text{逆変換は?}$$

平面 $x = y$ に関する対称変換 (**鏡映**) ブロック分け, **ブロック対角行列**

$$\begin{bmatrix} 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \quad \text{逆変換は?}$$

L14-Q2

Quiz(3次元の回転)

y 軸を回転軸とする, xz 平面内の角 θ の回転の線形変換 (1次変換) を表す行列を書こう. ただし, どちらまわりを正の θ にするかは自由に決めてよい.

3次元の回転行列とオイラー角

2次元の回転行列は1パラメタ θ で R_θ .

3次元の任意の回転は、3パラメタ必要(フライトシミュレータでヨー、ピッチ、ローがあるのはそのため).

オイラー角 ψ, θ, ϕ にとることが多い.

3次元の回転行列は、角 ψ, θ, ϕ の平面回転の合成(行列の積)で書ける.

$$\begin{aligned}
 & \begin{bmatrix} \cos \psi & \sin \psi & 0 \\ -\sin \psi & \cos \psi & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & \cos \theta & \sin \theta \\ 0 & -\sin \theta & \cos \theta \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \cos \phi & \sin \phi & 0 \\ -\sin \phi & \cos \phi & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix} \\
 = & \begin{bmatrix} \cos \psi \cos \phi - \sin \psi \cos \theta \sin \phi & \cos \psi \sin \phi + \sin \psi \cos \theta \cos \phi & \sin \psi \sin \theta \\ -\sin \psi \cos \phi - \cos \psi \cos \theta \sin \phi & \sin \psi \sin \phi + \cos \psi \cos \theta \cos \phi & \cos \psi \sin \theta \\ \sin \theta \sin \phi & -\sin \theta \cos \phi & \cos \theta \end{bmatrix}
 \end{aligned}$$

<http://irobutsu.a.la9.jp/mybook/ykwkrAM/sim/EulerAngle.html>

ここまで来たよ

13 1次変換による直線の像 | 第1章 行列の概念

14 3次元の回転行列・対角行列・上/下三角行列 | 第1章 行列の概念

- 行列の和差積逆スカラー倍
- 3次元空間の1次変換
- 対角行列

◆上三角行列, 下三角行列, 対角行列

加藤 線形代数 p.37

定義 (上三角行列, 下三角行列, 対角行列)

n 次正方行列 $A = [a_{ij}]$ に対して

- A が上三角行列 (upper triangular matrix) $\Leftrightarrow (i > j \Rightarrow a_{ij} = 0)$
- A が下三角行列 (lower triangular matrix) $\Leftrightarrow (i < j \Rightarrow a_{ij} = 0)$
- A が対角行列 (diagonal matrix) $\Leftrightarrow (i \neq j \Rightarrow a_{ij} = 0) \Leftrightarrow$ 「対角成分でない成分はゼロ」
- A が対称行列 (symmetric matrix) $\Leftrightarrow a_{ij} = a_{ji} \Leftrightarrow A = {}^tA$.
- A が反対称行列 (anti-symmetric matrix) $\Leftrightarrow a_{ij} = -a_{ji} \Leftrightarrow A = -{}^tA$.

$P \Leftrightarrow Q$: P と Q は同値, Q は P の必要十分条件, P を Q で定義する.

$P \Rightarrow Q$: P ならば Q , P は Q の十分条件, Q は P の必要条件, P : 仮定, Q : 結論

$P \Leftrightarrow Q$ の真偽表

$P \setminus Q$	真	偽
真	真	偽
偽	偽	真

$P \Rightarrow Q$ の真偽表

$P \setminus Q$	真	偽
真	真	偽
偽	真	真

対角行列

n 次対角行列

具体的な表示

$$D = \begin{bmatrix} \lambda_1 & & & 0 \\ & \lambda_2 & & \\ & & \ddots & \\ 0 & & & \lambda_n \end{bmatrix}$$

$D = [d_{ij}]$ とすると、クロネッカーのデルタを使って

$$d_{ij} = \lambda_i \delta_{ij} (= \lambda_j \delta_{ij})$$

λ_j ($j = 1, \dots, n$) を **対角成分** という。

対角行列全体は、 n 次正方行列の中で、扱いの簡単なファミリーになっている (部分ナントカ)。

線形代数 II(後期), 代数 (3 年)

何か計算していて対角行列にできたらラッキー **対角化**

線形代数 II(後期)

単位行列は、対角成分 $\lambda_j = 1$ ($j = 1, \dots, n$) な対角行列。

L14-Q3

行列と対角行列との積

n 次正方行列 $A = [a_{ij}]$ と、対角成分を λ_j ($j = 1, \dots, n$) とする対角行列 D を考える.

- ① $B = AD$ の (i, j) 成分を求めよう.
- ② $C = DA$ の (i, j) 成分を求めよう.

L14-Q4

Quiz(対角行列の積)

n 次の正方行列 $A = [a_{ij}]$, $B = [b_{ij}]$ を考える. A, B は対角行列であるとする.

- ① 積 AB の (i, j) 成分を求めよう.
- ② 積 BA の (i, j) 成分を求めよう.
- ③ べき乗 A^m ($m = 0, 1, 2, \dots, n$) の (i, j) 成分を求めよう.

mobius K1.3.70

L14-Q5

対角行列の逆行列

$\lambda_j \neq 0$ ($j = 1, \dots, n$) を対角成分とする対角行列の逆行列を求めよう.

L14-Q6

単位行列

A を任意の n 次正方行列, $B = [\delta_{ij}]$ とする. $AB = BA = A$ を示そう.